

文章にかかわるすべての実務に役立つ

校正・校閲力養成講座

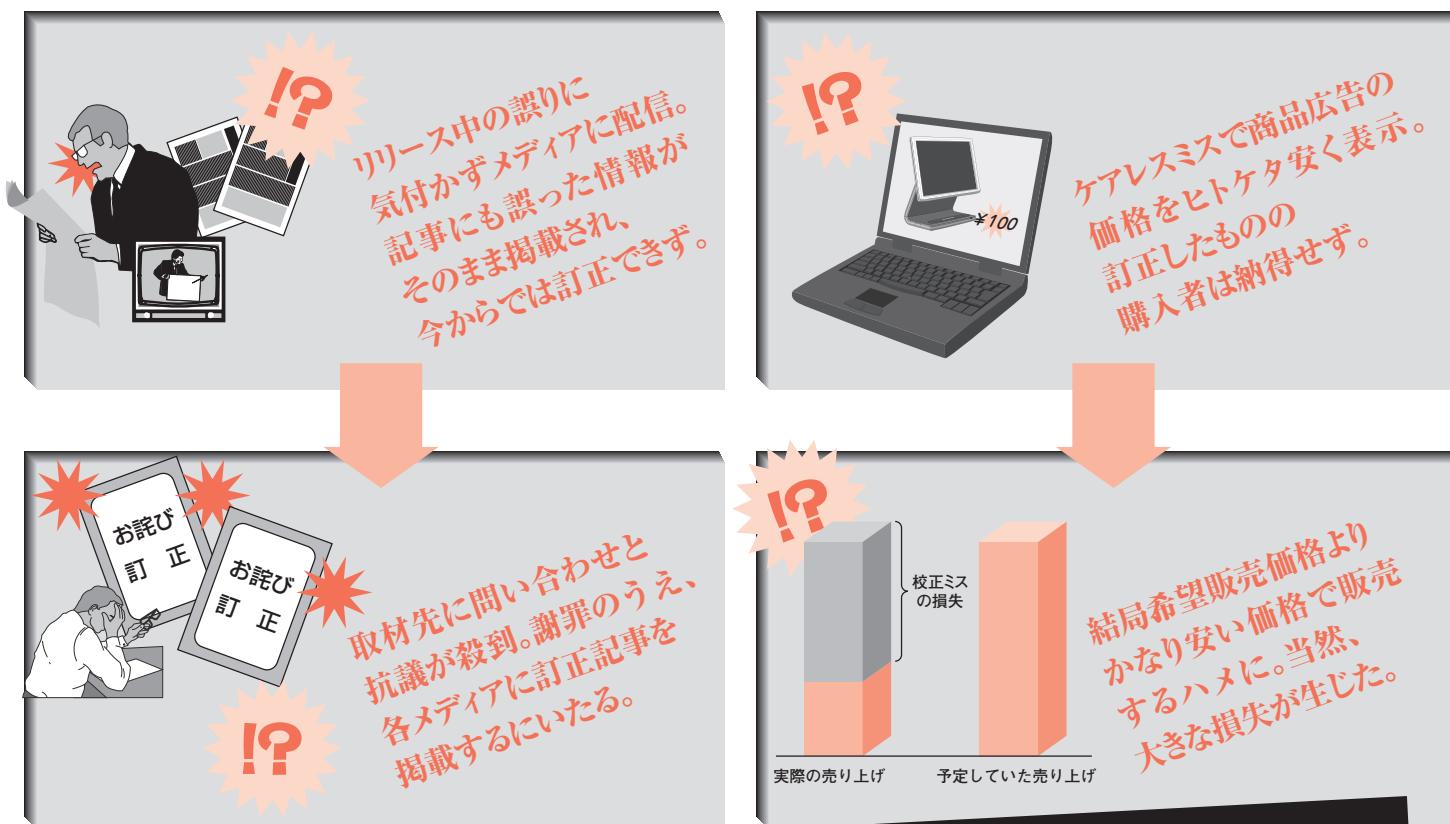
【教室＆オンライン（Zoom）開催】
2026年1月15日（木）

OR

【オンデマンド講座】
期間内はいつでも、
どこでも視聴可能

「なんとなく」で済ませていませんか？

問題が生じてからでは手遅れ。文章のリスク管理はできていますか？



実践的なワークショップを通して「実務に生きるノウハウ」を身につける。
疑問点があれば、その場で講師が解決！

想定外のコストの発生や
ブランドの信用低下につながる発信情報の誤り。
それを防ぐために校正・校閲力の強化は不可欠です。

今さら聞けない、周囲に聞ける人がいない。

校正・校閲の悩みにお答えします！

選べる受講形態！

東京会場（南青山）

or

オンライン（ZOOM）



KAIGI GROUP

Ecosystem for Growth and Innovation in the Digital Age



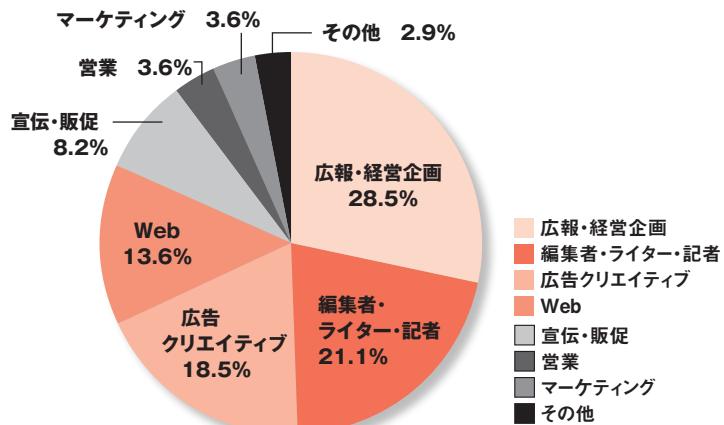
座学と演習の集中講義で
基礎から実践まで学べます。

編集者だけの講座ではありません

右のグラフは、これまで開催された校正・校閲力養成講座の受講生の職種・職業分野を表しています。

最も多いのは編集者・ライター・記者で、その次が広報・経営企画に関わる方々です。プレスリリースや広報誌の制作など、校正・校閲が必要な場面が多く、重要なスキルとして考えられています。

その他、広告クリエイティブ、Web、宣伝・販促と、幅広い職種・職業の方にご受講いただいている。まさに、文章実務に関わるすべての方に役立つ講座と言えます。



本講座について

独学が難しい校正・校閲のスキルを1日かけて学ぶ

今、校正・校閲は編集者・ライターに限らず、PR誌、広報誌、フリーペーパー、Webコンテンツ、さらには企画書などのビジネス文書にいたるまで、文字情報を発信するメディアに関するすべての人にとって、必要不可欠な作業となっています。

社会状況の激変にともない、校正・校閲を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。それは、取りも直さず、校正・校閲の役割も大きく変わらざるを得ない、ということでもあります。誤字・脱字の訂正は当然として、記述された事実内容の確認や、文章表現の適否の判断まで求められるようになってきました。

文字や数字の誤りが情報の信頼性を損ない、差別表現などの不適切な表現が出版物の回収を余儀なくし、時に訴訟沙汰に発展することもあります。

一方、わが国の言語・文字環境——漢字と仮名の混在、外来語の流入など——はいよいよ複雑さを増しています。さらにデジタル化の進展によって制作工程の革新が進み情報検索の手法も大きく変わりつつあります。校正・校閲の作業は量的にも質的にも変化し、その負うべき責任は増大しています。

校正・校閲は品質管理にとどまらず、危機管理の任務も負わなければならない。それが現在の、そしてこれから校正・校閲のありかたなのです。

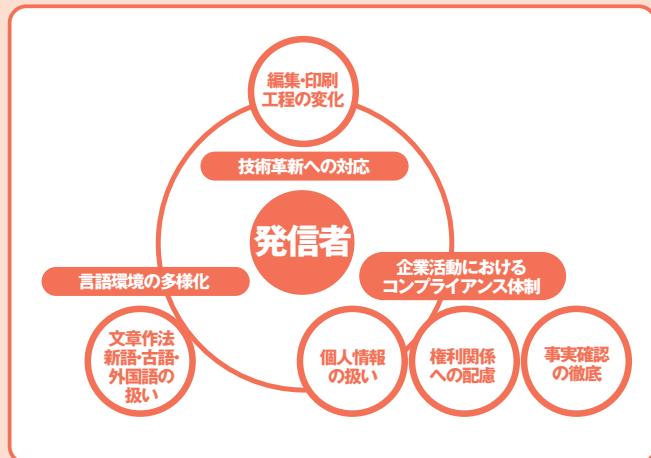
このような校正・校閲をとりまく状況の変化を鑑み、伝会議では、情報発信に関わるすべての方々に向け、「校正・校閲力養成講座」を開講しています。これまで1600名以上の方が受講している本講座に、皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

本講座について

Point 1

社会環境の変化に対応する 校正・校閲の力を身につける

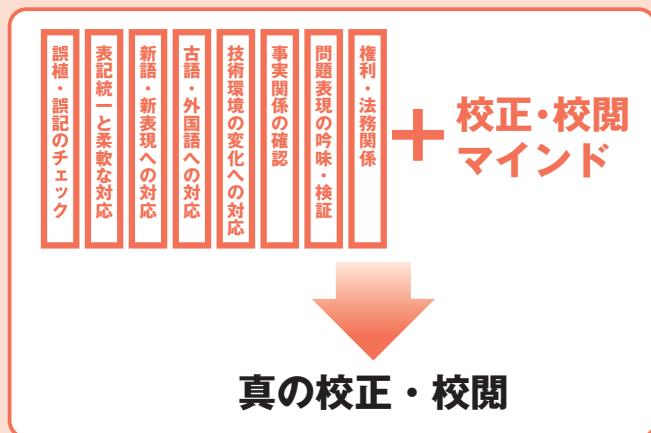
情報発信技術の進化、言語環境の多様化を背景に、品質管理・危機管理など、情報発信者が担うべき役割が増えています。ソーシャルメディアの普及により、文字情報の広がり方も変化し、これまで以上に校正・校閲の力が必要になっています。差別用語など、不適切な表現への配慮も必要です。本講座では、校正・校閲の作業と任務を体系化された知識として習得し、言語表現における危機管理に不可欠な素養を身につけることを目指します。



Point 2

誤りを防ぐための基本である 校正・校閲マインドを習得する

まず、文章を疑い、辞書で調べるという基本的な心構えが、校正・校閲には求められます。問題表現の吟味・検証、事実関係の確認、権利法務関係のチェックなど、マインドに裏打ちされて校正・校閲のスキルは生きたものとなります。本講座では、校正・校閲をする者としてのマインドを持ったうえで、その作業と任務の体系化された知識を学び、言語表現において気を付けるべきポイントを押さえます。



Point 3

改めて人に聞けない 校正・校閲の基本を学ぶ

周囲に校正・校閲について相談できないという悩みを持つ人が、少なくありません。基本的な赤字の入れ方や、制作の工程などを理解しないまま、校正・校閲業務を行うケースも出てくるでしょう。改めて、人に聞けない校正・校閲の基本が習得でき、人に教えられる知識も身につきます。

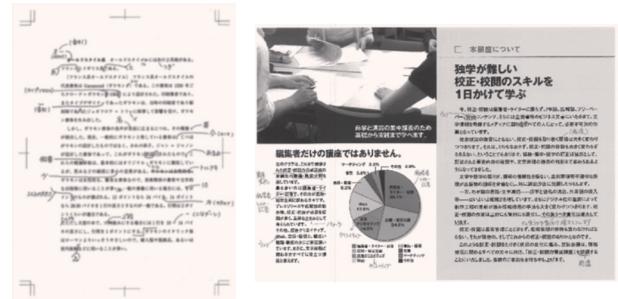
誤りはありませんか？

頭骸骨

袖すりあうも多少の縁

**複数の課題に取り組み、
実務に役立つスキルの習得を目指します。**

本講座では、事前課題を含む複数の実践課題に取り組んでいただきます。校正・校閲のマインド・スキルをより多く習得できるよう、徹底的な指導を行います。また、受講者各人の悩みにお答えできるよう、十分な質疑応答の時間も設けてあります。



カリキュラム

時間	テーマ	講義内容	講師
10:00 ~ 12:00	プロの現場での 最新実務に学ぶ 校正・校閲の基本・常識	そもそも校正・校閲とは／間違いの種類と見つけ方／校正・校閲軽視は何をもたらすか／校正・校閲の体制やフロー／時代と校正・校閲 他	木下 彰二氏
13:00 ~ 15:00	演習を交えて 校正・校閲マインドを 身につける	知っておきたい基礎知識／校正・校閲に求められる配慮・意識／変化する時代への対応／IT化の利点と弱点・盲点・スキル以上に求められるマインド／演習 他	木下 彰二氏
15:20 ~ 17:20	広告・販促物における 校正・校閲	消費者視点におけるチェック／書籍とは違う広告・販促物の校正／誤字脱字防止法／事故実例から学ぶ／校正による危機管理／演習 他	加藤 健太郎氏

※日程・カリキュラム・講師は都合により変更となる場合がございます。

講師プロフィール

文章作成に携わる人が知っておいた方がよい校正・校閲のノウハウをミスの許されない現場で活躍する一流の講師が伝授！



校正者、編集者の両者の視点から、
実際に即したスキルを講義！

木下 彰二氏 共同制作社 代表取締役社長

出版社や編集プロダクションの勤務を経て、1995年にフリーランス校正者として共同制作社に登録。98年に編集者として同社に入社。2003年校正部へ転属し部長職を経て、12年代表取締役社長に就任。校正・校閲は単行本・文庫をはじめ、週刊誌、PR誌、通販カタログ、業務用カタログ、流通チラシなど、校正者と制作ディレクターの両方の立場から携わる。



広告販促物における校正に特化した
ノウハウを公開！

加藤 健太郎氏 株式会社ダンク 編集・校閲グループリーダー

2007年、株式会社ダンクに入社。入社時より、大手流通チラシの校正業務を担当。その後、大型カタログや金融商品等、様々な校正業務に携わる。品質管理チームにも所属し、社内外に向けて校正のノウハウを発信。現在は編集・校閲グループリーダーとして、編集・校正業務はもちろん、クライアント対応やスタッフ育成に注力すると同時に、デジタル校正も積極的に取り入れた、ミスの起きない仕組みづくりを模索中。「ミスなく。効率よく。」がモットー。一児の父。

修了生の声

社外の校正・校閲例を見たことがなかったので、今後の校正・校閲作業に大変参考になりました。特に、事実確認はネットでしまうことが多いので気を付けています。また、具体的な例も提示されながらの講義であったことから、人ごとではないと思い、講師の方の話に引き込まれました。

(生命保険会社 広報部)

事前に課題を行って、気付けない部分が多くありました。校正では問題にならなかつたものの校閲では“そんな所まで！”と目からウロコなことばかりでした。ちょっとしたコピーで問題が生じてしまうこともあります。商標や企業名、差別問題など、今まで特に気にしていなかつた部分にも気を付けていきたいです。

(SP会社 デザイナー)

校正・校閲に関して詳しく理解していない状態での参加でしたが、必要性や、何をすべきかということを分かりやすく解説していただき、とてもためになりました。デザイナーという立ち位置からも、普段文字の誤りや文言のミスで事故につながることもあるため、原稿から見直す校正・校閲的重要性がよくわかりました。

(広告制作会社 デザイナー)

文章を作成する際、誤字・脱字に注意しているが頻繁に校正者に指摘を受けており、何か良いヒントがあるかと思い受講しました。そもそも校正と校閲の深さが全くわかっていないかったと気付きました。特に、マインドについて学ぶことができて、とてもよかったです。

(アパレル関連会社 営業企画部)

講座 概要

- 開催日程：2026年1月15日(木)
- 講義時間：10:00～17:20
- 受講定員：30名 ※東京会場(南青山)
- 講義形式：東京会場(南青山)開催 & オンライン開催 ※ZOOMを活用予定
- 受講料金：59,000円(税込 64,900円)※申込金5,000円(税込 5,500円)を含みます
- 受講対象：文章に関わるすべての方。企業の広報、総務、Web担当者、広告制作会社のコピーライター、雑誌、書籍、フリーペーパー、Webメディアの編集者など

本講座は
オンデマンド
配信もあります

QRをスキャン



お申込みはWebから またはこちらまで
FAXにてお送りください

→ 03-3475-3033



お申込者情報記載欄	会社名	TEL		
	住所			
	申込者様 氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
	Eメール			
	派遣責任者様 氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
Eメール				
申込形態 ①企業申込（請求書を発行します） ②個人申込		宣伝会議からの情報 ①いる ②いらない ③すでに届いている		

お振込み先 三菱 UFJ 銀行 青山支店 普通 1145602 口座名義：株式会社宣伝会議

※受講は受講者本人に限りません。他人に貸与・譲渡することはできません。なお申込み後のキャンセルは原則承っておりません。※万一、受講前に受講予定の方の参加ができなくなってしまった場合は、事務局までお問合せください。同一講座の受講中において、参加者の途中変更はできません。※一旦納入された申込金・受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由であっても払い戻しや次期への振り替えはできません。※天候不順によるアクシデントや講師の都合、受講者数が一定数を下回った場合等、諸事情により直前に開講日程が変更・中止となる場合がございます。その際、交通・宿泊費等の保証はできません。※弊社と発注者は互いに暴力団、及びその他の反社会的勢力に該当しないことを表明・確約します。万が一、上記に反していることが判明した場合には、直ちに無条件で本契約を解除します。※弊社と同様の教育講座を開催している業界・人材紹介業、受講生への営業・勧説等を目的とするご受講等に閑らとして審査の上、お申し込みをお断りする場合があります。また、お申し込みから審査までの間に、ご請求書類の発送など、決済処理の進行が行われる場合がございます。あらかじめご了承ください。※本申込書により株式会社宣伝会議が取得した個人情報は受講手続きや各種連絡、講座運営、ダイレクトメールなどの方法で出版物や講座、イベントのご案内等をお送りするために利用します。プライバシーポリシー (<https://www.sendenkaigi.com/privacy/>) をお読みいただき、同意の上、お申し込みください。

■お問合せ

株式会社宣伝会議 〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号

TEL : 03-3475-3030 E-mail : info-educ@sendenkaigi.com <https://kaigi-group.com/>

 KAIGI GROUP
Ecosystem for Growth and Innovation in the Digital Age